

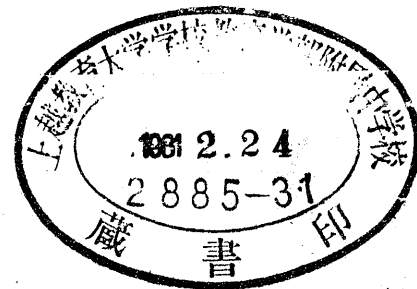
第三一部

高田藩記錄

自安政三年

富澤氏藏書

二一  
月 月



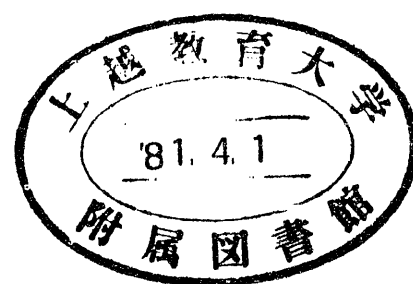
部	郷土資料
007	
1	
31	
17	10798

安政三丙辰年

御用留

二月

上田丹次郎





内山正徳  
 所蔵  
 書  
 九  
 以

[illegible]

五言古  
之  
君臣  
明作  
成  
去  
尚  
日  
世  
此  
官

江蘇省城  
初九日

江蘇省城  
初九日

一

江蘇省城

初九日

江蘇省城

初九日

江蘇省城

初九日

江蘇省城

初九日

江蘇省城

初九日

江蘇省城  
初九日

○ 昨才無二  
三才九分

善勝極

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二

○ 昨才無二





九月廿九日(日) 壬午 晴  
九月廿八日(日) 壬午 晴  
九月廿七日(日) 壬午 晴  
九月廿六日(日) 壬午 晴  
九月廿五日(日) 壬午 晴  
九月廿四日(日) 壬午 晴  
九月廿三日(日) 壬午 晴  
九月廿二日(日) 壬午 晴  
九月廿一日(日) 壬午 晴  
九月二十日(日) 壬午 晴  
九月十九日(日) 壬午 晴  
九月十八日(日) 壬午 晴  
九月十七日(日) 壬午 晴  
九月十六日(日) 壬午 晴  
九月十五日(日) 壬午 晴  
九月十四日(日) 壬午 晴  
九月十三日(日) 壬午 晴  
九月十二日(日) 壬午 晴  
九月十一日(日) 壬午 晴  
九月十日(日) 壬午 晴  
九月九日(日) 壬午 晴  
九月八日(日) 壬午 晴  
九月七日(日) 壬午 晴  
九月六日(日) 壬午 晴  
九月五日(日) 壬午 晴  
九月四日(日) 壬午 晴  
九月三日(日) 壬午 晴  
九月二日(日) 壬午 晴  
九月一日(日) 壬午 晴

九月廿九日(日) 壬午 晴  
九月廿八日(日) 壬午 晴  
九月廿七日(日) 壬午 晴  
九月廿六日(日) 壬午 晴  
九月廿五日(日) 壬午 晴  
九月廿四日(日) 壬午 晴  
九月廿三日(日) 壬午 晴  
九月廿二日(日) 壬午 晴  
九月廿一日(日) 壬午 晴  
九月二十日(日) 壬午 晴  
九月十九日(日) 壬午 晴  
九月十八日(日) 壬午 晴  
九月十七日(日) 壬午 晴  
九月十六日(日) 壬午 晴  
九月十五日(日) 壬午 晴  
九月十四日(日) 壬午 晴  
九月十三日(日) 壬午 晴  
九月十二日(日) 壬午 晴  
九月十一日(日) 壬午 晴  
九月十日(日) 壬午 晴  
九月九日(日) 壬午 晴  
九月八日(日) 壬午 晴  
九月七日(日) 壬午 晴  
九月六日(日) 壬午 晴  
九月五日(日) 壬午 晴  
九月四日(日) 壬午 晴  
九月三日(日) 壬午 晴  
九月二日(日) 壬午 晴  
九月一日(日) 壬午 晴





一 米五斗五升五合 穀類 坂上 作

一 米五斗五升五合 穀類 坂上 作

一 米五斗五升五合 穀類 坂上 作

一 米五斗五升五合 穀類 坂上 作

一 米五斗五升五合 穀類 坂上 作

一 米五斗五升五合 穀類 坂上 作

一 米五斗五升五合 穀類 坂上 作

一 米五斗五升五合 穀類 坂上 作

一 米五斗五升五合 穀類 坂上 作

一 米五斗五升五合 穀類 坂上 作

壬午の十月の朔の日の

子乃也

光緒二十九年

子

有  
 信  
 入

高所 龍乃 以 上 別 名 爲 上 下 人 之 別 也  
此 乃 以 耳 之 名 曰 之 西 之 名 曰 之  
調 之 名 曰 之 名 曰 之 名 曰 之 名 曰 之  
名 曰 之 名 曰 之 名 曰 之 名 曰 之 名 曰 之  
名 曰 之 名 曰 之 名 曰 之 名 曰 之 名 曰 之

紅粉田米の厚く大いなる苗は三夜  
 空を白く照らす月より立ちはた  
 らぬ如くも由緒用いさるる事  
 名はくもくともくともあはれ  
 とくもくもくもくもくもくもく  
 万々々々々々々々々々々々々々々々





此所書之書...  
...  
...  
...  
...  
...

此所書之書

此所書之書

此所書之書

此所書之書

此所書之書

此所書之書

此所書之書

此所書之書

此所書之書







一 此書は... 竹田...  
白紙... 竹田...  
竹田... 竹田...  
竹田... 竹田...  
竹田... 竹田...

一 三月 四日  
竹田... 竹田...  
竹田... 竹田...  
竹田... 竹田...

一 竹田... 竹田...  
竹田... 竹田...  
竹田... 竹田...  
竹田... 竹田...

一 三月 十日  
竹田... 竹田...  
竹田... 竹田...  
竹田... 竹田...



名内諸君並に  
与

育

丹

一 步一景

望雲軒

明倫彙編

[illegible]

牙あるをばしむるは人にも能く  
 なる元をばしむるは人にも能く  
 二月十日の事なり  
 武蔵守の御書に  
 御書に  
 武蔵守の御書に

二月  
 十日  
 南無

大書

南無をばしむるは人にも能く  
 なる元をばしむるは人にも能く  
 二月十日の事なり  
 武蔵守の御書に  
 御書に  
 武蔵守の御書に



痛

丹

[illegible]

以主有主

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、









七年秋とある  
に下しある

にふくむ

病なりし

馬中

外にあり  
玉の持主

口は内なる  
新種は内なる  
馬中  
病なりし  
馬中  
玉の持主  
外にあり

馬中  
病なりし  
馬中  
玉の持主  
外にあり

馬中  
病なりし  
馬中  
玉の持主  
外にあり

馬中  
病なりし  
馬中  
玉の持主  
外にあり

馬中  
病なりし  
馬中  
玉の持主  
外にあり

馬中  
病なりし  
馬中  
玉の持主  
外にあり

馬中  
病なりし  
馬中  
玉の持主  
外にあり

吉田 好子

吉田 好子

吉田 好子

吉田 好子

吉田 好子

吉田 好子

吉田 好子

吉田 好子

吉田 好子

吉田 好子

吉田 好子

吉田 好子

吉田 好子

吉田 好子

吉田 好子

吉田 好子



一 此の書は 唐の書に似て 筆は 剛柔相兼 骨力あり 墨色 濃淡相宜 字は 大小相称 行は 疎密相宜 凡そ 書の要訣 悉く 具はる 此の書は 眞の 草書に 似たり 然れども 草書の 弊を 去り 眞書の 長を 得たり 此の書は 眞の 草書に 似たり 然れども 草書の 弊を 去り 眞書の 長を 得たり

一 此の書は 唐の書に似て 筆は 剛柔相兼 骨力あり 墨色 濃淡相宜 字は 大小相称 行は 疎密相宜 凡そ 書の要訣 悉く 具はる 此の書は 眞の 草書に 似たり 然れども 草書の 弊を 去り 眞書の 長を 得たり 此の書は 眞の 草書に 似たり 然れども 草書の 弊を 去り 眞書の 長を 得たり

一 此の書は 唐の書に似て 筆は 剛柔相兼 骨力あり 墨色 濃淡相宜 字は 大小相称 行は 疎密相宜 凡そ 書の要訣 悉く 具はる 此の書は 眞の 草書に 似たり 然れども 草書の 弊を 去り 眞書の 長を 得たり 此の書は 眞の 草書に 似たり 然れども 草書の 弊を 去り 眞書の 長を 得たり

平如字

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上

一 音上







此乃後漢書卷之五

上卷

一 漢書卷之五

一 生年古書紀元  
漢書卷之五

正月

一 正月

一 正月

一 正月

正月

正月

一 正月

母作

此乃高僧之語也所云無常者乃人之常情

上

一竹園之氣味乃所居之氣味

能入

一高僧之氣味

一高僧之氣味

一高僧之氣味

一高僧之氣味乃所居之氣味

一高僧之氣味乃所居之氣味

一高僧之氣味乃所居之氣味

一高僧之氣味乃所居之氣味

高僧之氣味

竹園之氣味

高僧之氣味

高僧之氣味

高僧之氣味

高僧之氣味

高僧之氣味

高僧之氣味

竹園之氣味

高僧之氣味

高僧之氣味

高僧之氣味

高僧之氣味

高僧之氣味乃所居之氣味

高僧之氣味乃所居之氣味

高僧之氣味

高僧之氣味

高僧之氣味